

イウカさんの OLÁ, HIKONE!



(Olá[オラ]=ポルトガル語で「こんにちは」)

第7回 2月と言えばカーニバル!

皆さんこんにちは、イウカです。

彦根では、2月がいちばん寒いと聞きました。私の母国ブラジルは日本とは反対に南半球にありますので、今が夏の盛りです。日本の夏にさまざまなお祭りが行われるように、ブラジルでも暑い2月といえば祭りです。そう、世界的に有名なCarnaval(カーニバル)の季節です。

◆カーニバルの宗教的な意味

Carnavalは大昔のエジプトやギリシャ、ローマの豊饒祭ほうじょうから来ていて、中世にキリスト教の祭日となったそうです。今日、世界的に有名なCarnavalとしては、イタリアのベネチア、アメリカのニューオーリンズ、ドイツのケルンのものがあります。これらは宗教的というよりも、世俗的な面が強く感じられます。

宗教的な意味を考えてみましょう。Carnavalを日本語にすると「謝肉祭」です。Carnavalのお祝いが終わるとEaster(キリスト復活祭)までの40日間、Lent Season(四旬節=キリストが荒野で断食した40日間になぞらえたもので、この間肉食を断つもの)が始まります。つまり、Carnavalは、肉食を断つ期間の前に、食物となる「肉」に「感謝する」お祭りなのです。厳格にカトリックの伝統を守る地域では、Mardi Gras(告解火曜日=謝肉祭の最後の日)という行事も行います。

これら一連のキリスト教祭事は、教会が定める宗教のカレンダーに従って行うため、毎年日が違うんですよ。ちなみに今年の告解火曜日は、2月12日でした。

リオのカーニバル



◆最近のカーニバル事情

Carnavalは内外の観光客にとっても人気が高く、1990年代以降、観光事業としてMicareta(本来の季節以外の時期に行うCarnaval)が流行しています。最近では毎月のように、ブラジルのどこかでMicaretaが行われているようです。

Carnavalといえば、最も有名な「リオのカーニバル」を連想する人が多いでしょうが、テレビなどで見ることができるリオ・デ・ジャネイロ市街の様子は、Carnavalのごく一部に過ぎません。ブラジルでは国中、それぞれのまちに固有のCarnavalがあり、パーティやパレードや衣装コンテストなどがあります。さまざまなイベントには自由に参加することができます。特に北東地方の各州には、独特なお祝い方法(曲やダンスや服装など)があります。

◆私にとってのカーニバル

私の大学時代、学生たちにいちばん人気があったのは、ミナス州にある世界遺産のまちOuro PretoのCarnavalでした。また、私が3歳から5歳ぐらいのときに経験した、サンパウロ州の田舎、人口3,000人ぐらいの小さな町のCarnavalも強く印象に残っています。その町には祖母の家があり、いとこたちや伯父さん、伯母さんといっしょにバレリーナやハワイ風の衣装を着て、町の公民館で開かれる親子向けのパーティによく遊びに行きました。サンバを踊らなくても、Carnavalはすごく楽しくすごせるイベントなのです。

ポルトガル語・最初の一步

今回から、簡単なポルトガル語を紹介していきたいと思います。

ポルトガル語の母音は、ほぼ日本語と同じようにa=あ、i=い、u=う、e=え、o=oと発音します。ですから、日本人はすぐに読めるようになります。

まず、ブラジル人と初対面のあいさつをしましょう。初めて会う人には、自己紹介をしますね。

Olá! (こんにちは。)

Meu nome é ... (私の名前は...です。)

Muito prazer! (初めまして、どうぞよろしくお願ひします。)

笑顔は、辞書のいらぬ世界共通語です。笑顔で"Olá!"と声をかけあいましょう。きっと温かい心が伝わって、お互いにいい気持ちができると思いますよ。

それでは皆さん、Tchau, até o mês que vem! (さよなら、また来月)

(彦根市国際交流員 上甲イウカ)